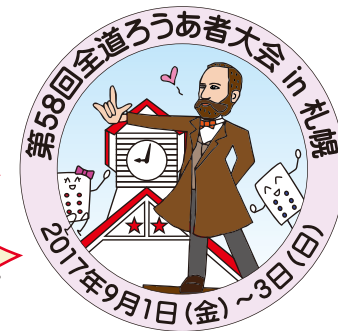


第58回全道ろうあ者大会in札幌

「つたえよう 広げよう 手話はいのち」

日程: 2017年9月1日(金)～3日(日) 2017.9.3

速報
第11号



～インタビュー①～

聴覚障害セミナー「福祉」

◆小樽から参加の熊倉さん

関心があるのは、やはり手話言語条例ですね。小樽はまだ検討中なので、来年4月から検討委員会を立ち上げられるように、大杉さんの講演を聞いて、もっと詳しく勉強したいと思い参加しました。

◆北見から参加の菅原さん

講演はなかなか難しかったけれど、手話言語条例のことについて勉強になりました。

◆釧路から参加の佐山さん

大杉先生が入院している時の話を聞いて、ろう者の気持ちがわかった。入院や外来に行った時はもっとろう者の気持ちをストレートに伝えられる時代になってほしいです。

◆小樽から参加の熊倉さん

関心があるのは、やはり手話言語条例ですね。小樽はまだ検討中なので、来年4月から検討委員会を立ち上げられるように、大杉さんの講演を聞いて、もっと詳しく勉強したいと思い参加しました。



◆釧路から参加の佐山さん

大杉先生が入院している時の話を聞いて、聞こえる側からは分からなかったろう者の気持ちがわかった。入院や外来に行った時はもっとろう者の気持ちをストレートに伝えられる時代になってほしいです。

聴覚障害セミナー「手話」

◆旭川ろうあ協会の佐藤芳則さん
手話セミナーの内容が知りたかったので参加しました。勉強になりました。



◆手話サークル「帯広グルッペ手話の会」の尾形直樹さん
全道ろうあ者大会は3回目くらいの参加です。手話研修センターの名前は聞いた事がありましたが、実際に何をやっているのかを知りたくて参加しました。新しい手話を作っている等、おもしろい内容でした。

～インタビュー②～

青年のつどい

◆千歳市の石田愛美さん
昔の人がいろいろな運動をしてきて、今の私たちの生活がある事を知りました。

◆苫小牧市の八鍬雄太郎さん
これまで、憲法とろう運動のつながりを考えてこなかった。車の免許が取れなかったことは、ちょっと前まで知らなかったが、障害を持っているから「無理」と考えていることを「無理」ではなく「おかしい」と思って行動することはすごいと。



女性のつどい

◆札幌・手話サークル員のY-Tさん
納棺の実演を見て、亡くなった母のことを思い出した。専門職であることに驚いた。亡くなった方も生きている方と同じように肌や下着を見せないという信念に基づいた姿勢が素晴らしいと思った。

◆函館から参加のY-Mさん
納棺の実演を見て、亡くなった主人の時を思い出した。その時の納棺師さんは女性でしたが、やはり丁寧でした。女性のつどいは初めての参加ですが、とても良かったです。



高齢者のつどい

◆旭川の泉川光代さん
全道ろうあ者大会は5年ぶりです。今回は、新しく出来たろうあ者のための高齢者施設の見学が楽しみです。



【連絡先】〒060-0042 札幌市中央区大通西19丁目1-358 札幌市視聴覚障がい者情報センター2階
(公社)札幌聴覚障害者協会事務局内 第58回全道ろうあ者大会実行委員会事務局
FAX:011-642-8377 TEL:011-642-8010 メール:houjinjimukyoku@sadeaf.jp

第58回全道ろうあ大会
in札幌のHPIはこちら→

